

## 食の安全・安心

はせがわ まもる  
長谷川 衛

民主党・市民連合



**問**食の安全性と信頼の向上のため、「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業」において消費者の参加を促し、食品の安全性に関する情報共有や、意見反映のできる事業展開が必要です。市長の所見を伺います。  
**答**消費者の視点に立った施策が必要であり、フォーラムの開催やモニター制度の導入など、市民参加型の事業を進めていきたいと考えています。

# 市議会の動き

9月24日に招集された第3回定例会の中から、9月30日、10月1日、2日の代表質問の主な内容、10月10日までに議決された議案などについてお知らせします。  
なお、10月11日以降の内容は、12月号でお知らせします。

## 地下鉄東豊線の延伸

みうら えいぞう  
三浦 英三

公明党



**問**地下鉄東豊線の清田方面への延伸は、地域住民にとって悲願です。昭和56年以来、建設促進に向けた要望活動が行われており、今年5月には、市長に要望書を手渡しました。東豊線の清田延伸について、市長の所見を伺います。

**答**地域の皆様の悲願であることは十分承知しています。現在実施している第4回道央都市圏パーソントリップ調査によれば、20年後のバス・地下鉄利用者は10%以上の減少が予測され、需要面や採算面からは延伸は厳しいものと思われます。しかし、札幌ドームのさらなる有効活用や清田地区のまちづくりにとって、清田方面への延伸は重要と認識しており、財源確保や利用促進の方策など、延伸の可能性を検討していきたいと考えています。

## 子ども施策

ひろあき  
ふじわら 広昭

民主党・市民連合



**問**本市の保育所待機児童数は、5年前の156人に対して、今年402人に増加しています。年々高まる保育需要にどのように対応するお考えですか。

**答**予想を上回る需要に対応するため、定員250人増の予定に対し、補正予算で210人を追加しました。来年度はさらに積極的に保育所整備をしたいと考えています。

**問**年々増加する子どもの育成相談や児童虐待、一時保護に対応するため、児童相談所の体制と機能を大幅に強化する必要があると思いますが、いかがですか。

**答**児童福祉司を増やし、保健師と教員を配置するなどの対策に加え、相談体制の質を向上するため、総合的な改革プランを策定していきたいと考えています。

## 中高一貫教育

ほそかわ まさと  
細川 正人

自民党



**問**現在、中高一貫校の設置を教育委員会で検討中とのことですが、いつまでに結論を出すのですか。また、既存の高校とは別に、学校を設置する予定はありますか。

**答**教育内容や学校規模などの検討を進めており、議会や市民のご意見も踏まえて、平成22年中に決定したいと考えています。また、中学校卒業者数が減少傾向にあるため、新設ではなく、既存の市立高校を使用する予定です。

**問**どのような人材育成や教育内容を目指すのですか。

**答**時代を切り拓く、国際的な視野を持った人材を育成するため、社会体験などを重視し、「ふるさと札幌」に根差した教育内容の工夫や、本市のまちづくりに参画できる人材育成という視点も重要と考えています。

## 子育て支援

こじま ゆみ  
小嶋 裕美

自民党



**問**今年4月の児童福祉法改正により、保育所以外の子育て支援拠点などで乳幼児を一時的に預かる事業が制度化されました。多くの施設に道が開けたことから、この制度を積極的に活用すべきと思いますが、いかがですか。

**答**短時間勤務や家族の看護・介護などで保育所入所基準に満たない方々のニーズに応える有効な手段であり、財源の確保などを考慮しながら検討していきます。